

学習会の満足度

平均評価 4.53/5



講師へのご意見・ご感想をお聞かせください

- いろいろ新しい情報がきけて勉強になりました。ありがとうございました
- 貴重なお話を聞くことができよかったです。ありがとうございました
- 明るい人で聞いていると元気がもらえる
- とても素晴らしいです講話を聞けて元気になりました。ありがとうございます
- 優しく、明るい人柄に魅了されました。学校が有りのままでいれる場所になるように、行動を起こしていきたいです。ありがとうございました
- こどもたちの命を心を救えるよう、たくさん発信していきたいです。本日はありがとうございました
- 学校の先生に相談できるような環境として、まずは教師が伝えることが必要だと感じました。データとして知ること、重要性を実感しました
- 性の4つのものさしは勉強になりました。そこから「自分らしく」「自分らしさ」とは何かを考えることができるような関わりを子どもたちにしていけたらとおもいました。ありがとうございました
- 今回の研修会を通して、今後の授業展開を想像してワクワクしました。切り口を自分らしさという点から個性に発展させて、目の前の生徒に応じて一緒に学んでいこうと思います。チーム特支のメンバーにも今回の講習内容を共有して、まずは特学全体で取り組み、学校全体に広げていきたいです。今日はありがとうございました
- 講師自身の体験談や学校での実践事例や資料など、すごく参考になるものが多く勉強になりました。特に、「性の4つのものさし」は、この内容を取り扱うにあたって、取り組みやすいシートだと思いました。これまでは少し取り扱いづらい内容だと感じていた「性の多様性」に関する授業でしたが、これを機に少しでも子どもたちに伝えていけるよう頑張りたいと思いました。ありがとうございました
- LGBTQが人口の約5%だと聞いて、すぐに本校の人数で計算して驚いてしまいました。学校でも心理的安全性を作りたいと強く思いました。難しい問題を明るく楽しくお話しされているきよちゃんをみて、当事者の子たちもきよちゃんみたいに笑って過ごせるといいなあ…そのためには大人が頑張らないとなあと気が引き締まりました。ありがとうございました
- とても素敵な講演会を開催していただきありがとうございました。外見や性格などで先入観をもたず、自分の目の前にいる「その人自身」を受け入れ、理解することが大切なんだと改めて感じました。また、子どもたちは悩んでいること、困っていることを相談することはハードルが高く、大人から発信していくこと、打ち明けやすい環境を整えていくことが大切だと感じました。子どもたちが自分自身を大切にできるような支援を行っていきたいです
- とても聞きやすい講話でした。広く広く、教職員に伝わってほしい内容でした。見えないその悩みにもアンテナをはり、まずは「みんなちがっていいこと」を低学年のうちからそのような考え方、視野を持たせてあげたいなと思いました。性教育は大切です。いのちにつながる性教育を家庭教育から広めていけたらとも思います。我が子にも親からの枠を構えず、のびのびと、好きなことをやらせていきたいなと思いました。本日はありがとうございました
- ご講話をいただきありがとうございました。「性はグラデーション」という言葉は、白黒とカテゴリーせず、自然なあいまいさがあり、すてきな～と思いました。以前、担当した生徒が「自分はトランスジェンダー？かも・・・」と話してくれたときにどう言葉を返していいのか分からず戸惑ってしまいました。あの時は、参考になる書物を探したのですがなかなか手に入らず、そのまま時間が過ぎてしまいました。10年経った今でも担当していた生徒のことが気になっていましたので、今回のご講話でもありましたように「ラブレター」を今更ではなく、今からでも担当した生徒に届けたいと思いました。勇気を頂き感謝です。ありがとうございました
- 竹内さんのご講話を聴くのは2回目になります。教育現場、教員のLGBTについて学ぶ機会を増やすことが、教育の広がりにつながると考えこの学習会に参加させていただいています。私もまだまだ知識不足です。指導する側に十分な知識がないと、子ども達に正しい知識を伝えることができません。竹内さんの体験談は引き込まれました。LGBTについてわかりやすくお話しされ、授業、指導案等は、実践につながるもので大変ありがたいです。教育現場において、LGBTの課題として・・・例えば制服、トイレ、保健の教科書、

運動会でのエイサー（女踊り）、宿泊行事など子ども達がいじめや偏見に悩むことなく、一人一人自分らしく生きられるような学校へ変えて行かなければなりませんね。竹内さんのご講話、何度聴いても学びがあります。○回シリーズでお聴きしたいです。今日は、お忙しい中、貴重なお話ありがとうございました。余談ですが、映画にもなった「きのう何食べた？」のTVドラマが好きで観ていたのですが、心がほっこり温かくなる日常の中に、人と人が生きる上で大切にしたいことをいろいろな目線で感じ教えてくれた気がします

- 竹内さんのご活躍は報道等で知っていましたが、お話を聴くのは今回が初めてでした。当事者としての思いや経験、家族との関係などたくさん語っていただけてありがとうございました。資料もたくさん添付していただいたことも感謝します。お話の中では、カミングアウトされた保護者も孤立してしまうというところが印象的でした。当事者支援についてはよく考えますが、保護者支援も押しつけにならないように提供していくべきだなと気付かされました。ありがとうございました。私も多様性については学んできていますが、研究歴も長くないこの分野、本当にすごいスピードで学ぶべきこと、伝えるべきことが変化してきています。「性の多様性」というのなら、やはり今や「LGBTQ」ではなく「SOGIE」を使ってほしいと思います。セクシュアルマイノリティとセクシュアルマジョリティという構図ではなく、私たちの世界はみんないろいろであふれているんだを基本にしてほしいと思います。子どもたちにわかりやすいようにと配慮していると思いますが、「性愛の対象として人を好きにならない」アセクシュアルやノンセクシュアルのひともいることをきちんと伝えてほしいと思います。「いろんな人がいるよ」と言われても、具体的にどんな人がいるのか、自分はその「いろんな」に入っているのか気にする子もいるかなと思います。大人でもアセクシュアルについての理解は広まっていません。こんな機会にぜひ、知識として入れてもらいたいと思います

今回の学習会の内容を受け、実践をする上で必要な配慮があることについてコメントを下さった参加者がおられます。以下に要約してお伝え致します

この学習会の内容や講師である竹内さんのポジティブメッセージは素晴らしく、私も実践したい！との意欲がわいてきているのではないですか。ただ実践なさる際には、ぜひ次のようなことにご配慮いただきたいです

- 「周りと違って大丈夫」は素敵なメッセージですが、大丈夫かどうかを決めるのは当事者です。大人や周りの子どもが決めつけて押しつけるものではありません。大丈夫と思えない子どもや大人もいるということを理解し、それでもいいんだよと伝えてください。例えば「今日の話聞いて、『周りと違って大丈夫』なんかじゃない、違ったら怖いし、嫌だと思ってる人がいても当たり前だし、それでもいいんです。だって、みんな違うんだから考え方や感じ方も違っていいんです。でも、怖かったり嫌な感じだったりが続くととても辛いだろうから、この人になら話せると言う人を見つけて話してみてください。それも、無理をせず、絶対に話さなければいけないわけではありません。どうしたいかはあなたが決めていいんです」、授業の最後にこう付け加えるだけで、救われる人がいるかもしれないということを考えてみてください
- 「アウティング」についてのお話がありませんでしたが、大切なことです。もし、セクシュアリティに関して相談を受けたら、相談者に確認を取っていない相手へ話すことは絶対にしないでください。これは子どもにも伝えてください。教員は指導上必要だからと本人に確認を取らず情報共有をする可能性があります。あなたを信頼して話してくれた当事者を裏切ることになりますので、絶対に避けてください。相談者が子どもだからと保護者に許可を取って、当事者には許可を取らないということも避けてください
- 思春期には特にセクシュアリティの揺れが見られることがあります。あの子は〇〇かもしれないと気付いても、本人からの訴えがない状態で先回りして配慮することは避けた方がいいです

今後の学習会の内容・企画等について、研究会へのご要望があればお聞かせください

- 特にありません
- いつもありがとうございます
- 企画運営等お疲れ様でした。「性に関する学習会」の取り組みはなかなか無い学習会ですので、これからも楽しみにしています。ありがとうございました
- 今回、冒頭の説明部分だったか、異性愛を「ストレート」と表現していました。だったら同性愛や両性愛はカーブなの？シンカーなの？という隠れたメッセージを送ってしまうことになります。性は人権やプライバシーに配慮する分、言葉の選択は丁寧をお願いしたいです。今回の内容は多様性を伝えるにはちょっと物足りない感じです。多様性は道徳的に扱われやすいので、注意が必要です。「自分らしさ」がわからない子どもも今の時代存在することを忘れないでほしいです

問い合わせ



沖縄県
特別支援教育
研究会

令和4年度 事務局

山口飛・桑江広太
徳森愛・玉城百合香
廣渡善治・石川敦

TEL : 098-877-4941 / FAX : 098-876-4148

MAIL : okitokuken@as.open.ed.jp

沖特研HP : <http://www.okitokuken-as.open.ed.jp>

研究大会HP : <https://sites.google.com/ohira-sh.open.ed.jp/kyutokuren>

